

120707 小暑

7月7日は「七夕」です。

また、二十四節気では「小暑」にあたります。

長く続いた梅雨もそろそろ終わりを迎え、いよいよ夏本番が迫り来る...、という時期ですね。

近頃は集中豪雨による被害が多くなったようで気になるのですが、昔から梅雨明けの頃には、梅雨前線の発達により大雨が降ることも多い、と言われていました。

折しもこの日の未明は大雨でした...

日が昇る頃には、その雨もあがっていたのですが、曇天で少し風も強い中、**金剛山**に登ることにしました。

この日は土曜日だったのですが、天候に恵まれないためでしょう、「**ちはや園地**」には人の姿はまばらでした。

辺り一面に霧が立ちこめており、ときおり雨粒も落ちてくる、というような状況だったのですが、山頂の方ではお寺のお祭りがあったようで、ときおりホラ貝の音が鳴り響いていました。

別添の写真は、霧のかかった“幻想的な”樹林の風景（人工林、広葉樹林、ブナ林）です。

また、紫色の「オカトラノオ」みたいな花は「**クガイソウ**」という種で、「トラマルハナバチ」や「スジグロチョウ」などが吸蜜に訪れる姿を観察することができました。（ちはや園地内で撮影）















